

第6回 苫小牧市食育推進協議会

日時 平成31年2月8日（金）

18時00分～19時45分

場所 市役所7階会議室

次第

1 開会

2 議事

- (1) 食育月間以外の取組の実施について 資料1
- (2) 苫小牧市食育人材バンクの実施について 資料2
- (3) みんなで健幸大作戦！の実施について 資料3
- (4) 各団体の取組の報告

3 閉会

(1) 食育月間以外の取組の実施について

資料1、パワーポイントにて報告。

委員長	斉藤委員は主催者側として何か気が付かれたこと等あればお願いいたします。
委員	今年度は市の方で準備等全てして頂いたので、栄養士会としては大変進めやすかったです。前年度は、SAT システムを大学からお借りして、返却等も栄養士会でしたので大変でしたが、今年度は担当する栄養士は当日集まってすぐに業務に取り掛かれました。たくさんの方にいらっしゃって頂きまして、実際にどんなお食事をしているのかを普段接する機会のない方々とお話することができましたので、逆に私たち栄養士も勉強させていただきました。来年もまたよろしく申し上げます。
委員長	参加した私も感想を言わせていただきます。年齢と体力がマッチしているのか色々な測定や体験をさせていただいたり、歯をみてもいただきましたし、普段の食事を選んで、栄養バランスが十分なのかどこか足りないのか楽しみながら参加できました。自分が食べすぎなのではないかと悩んでいましたが、量的には大丈夫ですと言っていただいてホッとしました。

(2) 苫小牧市食育人材バンクの実施について

資料2、委員へ登録の依頼を含めた説明。

【質疑応答】

委員	私たちとしては、依頼者としての登録はできるかと思いますがそういった登録は不要ですか？
事務局	登録はなくても、依頼はお受けいたしますが、ぜひ登録者としての登録をお待ちしております。
委員	専門的な知識や技術を伝えるといったところで、私たちには難しいかと思いますが、うちの学校の保護者で調理の資格を持っていて、家庭科の授業にきてくれて指導してくれています。その方から若手の育成を行っているといった話を聞いたこともあった

	ので、例えばそういった方に声をかけて登録いただくといったことは可能ですか。
事務局	可能です。ぜひ色々な方に声をかけていただけたらと思いますのでお願いいたします。
委員	今、学校現場でも食育は色々行っていて、栄養教諭にきていただき指導しています。例えばこういう登録をされている方で、学校教育に関わってお願いしたいという場合は、すべてこちらと登録者の間で連絡をとって行うといったことよろしいですか。
事務局	バンクに登録されている方をみて、学校現場でこういった方に活躍いただきたいということがあればそれも依頼をお受けしており、その仲介をしたいと思っております。ただ有償といった場合もありますのでご負担いただく場合もあります。学校現場での活用は大丈夫かと思えます。
委員	実際のところ学校現場はお金がないので、どちらかという教育委員会を通じてお願いをするといった形になる。あくまでも市役所は紹介をするが交渉は依頼者と登録者の間で行うといったことですか。
事務局	その通りです。
委員	この人材バンクというのはもともと形としてはなかったものの、人伝えに紹介してもらって講話の依頼などは行われていたことと思います。それを形にしたことはとても良い取組だと思います。これをきっかけに一步踏み出せなかったことがスムーズに行えるようになればと思いますが、ハードルが下がってはいるが、一步足りないと思うのが、依頼する方が5名以上ということなのでそういったグループになれば交渉はしやすいかとは思いますが、人材バンクに登録する数がどのくらいになるのか、自分で専門的な知識があると思う方がどのくらいいるのかと考えると、先ほどの推薦であったり、こういったものがあるといった紹介等の方が登録者数は増えると思う。応募要領が硬いため、自分にはできないと思ってしまう方がいるのではないかと思います。
委員長	一步踏み出した素晴らしさと、少しハードルが高いというようなところですが、佐藤委員はご自分から手をあげて応募はされますか。
委員	これを読むと少し自信はないのですが、依頼したいけど出来なかったという方が多いのであればお力にはなりたいと思います。自分がどこまでできるかはわかりませんが、形としてそういった取組は好きなのでこの中で一緒にやってくれる方がいればぜひやりたいです。
委員	園で子どもたちの前でこういった食育を何かお話してくれる方がいれば利用したいと思う。外部から来ていただくという伝手がなかなかなかったのでぜひ活用はさせていただきたいと思います。
委員	保育園の立場で望む依頼内容を考えていました。例えば畑づくりをする中で定期的に来ていただくことや収穫したものを調理するところを見せていただくこと、年長、年中児等ごはんの大切さがわかるようになっている時期に自分で選んでバランスがわかるようなものがあると良い。例えば、その中に子どもたちが大好きなポテトチップス等をちりばめて、スナック菓子では栄養が偏るといったことが簡単に体験できると

	嬉しく思う。保育園もお金が無いので、違う所ではアウトリーチでかかる費用は市が負担をし、保育園等の団体が呼ぶ場合は無償でできていただくというものがありますのでぜひ依頼者の負担が減るような検討をいただけたらと思います。
委員長	委員から要望がありましたが、そういった可能性はありますか。
事務局	実際に広報をみて登録された方が数名いらっしゃって、無償の方もいらっしゃいましたので、無償で活動される方を選択する方法があります。他の団体に呼びかけをしたときに、調理実習をするときの実費はいただきます、講師料は不要ですが他にかかる経費はいただきますといったところもございますので、高額な講師料を求められるものではないかということが考えられます。もう一つ、専門的という言葉にひっかかってしまうかと思いますが、専門というのは資格等ではなく、例えばお野菜の選び方が上手な野菜名人や、漬物名人、魚のさばき方が上手な方など講師としてきていただきたい。親子でそういった体験ができる場は無いと思いますので、そういったプロフェッショナルな方に登録をしていただければと考えております。おそらくここにいらっしゃる方は皆さんが該当すると私は思っておりますので、もう一度お勧めしたいと思います。ぜひよろしくお願ひします。
委員長	先ほど畑づくりという話がでていましたが、丹波委員はそのあたりいかがですか。
委員	まずどういう依頼があるのかということで、自分から登録することはありませんが、依頼の内容によってはあり得るかもしれません。また、こういった方がいる等紹介はできるかと思ひます。おそらく、自分から登録するといった方は少ないのではないかと。ですから幅広くプロフェッショナルな方々を依頼の状況に合わせて紹介できるよう段取りしておいた方が良く思ひます。畑づくりに関しては、市内の学校でハウスができないか教育長に話をしたことがあります。その話は進んでいませんが、植苗の学校は農家が畑を起し、子どもたちと一緒に秋の収穫祭を行うことは根付いている。市内中央の地域においても、バケツの稲など狭い方法でやることはできるので学校で取組むことができると思ひます。農協であれば専門の方はいらっしゃいますし、協力しながらできると思ひますが、依頼がどの程度あるのかが大事だと思ひます。
委員	樽前小学校は地元の方が畑の先生という形でできていただいて、子どもたち一人一人が自分の個人の畑を持っているので、そこに自分の好きなものを植えて、畑の先生が指導してくれて育て、最後に収穫をしてじゃがいも、人参などの材料でカレーを作って食べるといった食育活動を行っている。地域の方々がそのように行ってきており、登録者ではないが植苗や樽前地区はすでにそういった活用を行っている。
委員	畑づくりについてお話ありましたが、魚屋としての登録等はいかがですか。
委員	魚屋の若い方々が少なく、市内に魚屋は10件しかありません。例えば魚のおろし方を教える依頼がきたときに、派遣できる店があるかと考えると非常に難しい。私のところは、私がまだ元気ですので協力できることはあるかもしれませんが、登録をするといったところまではいかない。魚屋も組織はあり、10件の魚屋と問屋を含め50名の組合人数と少ないため、登録するといった方は魚屋の中では少ないかなと思ひま

	す。食品衛生協会の方には伝えておきます。
--	----------------------

(3) みんなで健幸大作戦！の実施について

資料3について説明。

【質疑応答】

委員	保健所が行っている健康づくりの事業と重なる点もありまして、推進がうまくいけばいいなと思って見ておりました。保健所の取組と似ているものとして、タバコの空気のおいしい施設ステッカーというところでは、北海道の方でおいしい空気の施設推進事業というものがあります。登録していただくとホームページに名前を掲載させていただいて、禁煙、分煙のステッカーをお配りして貼っていただくといったような事業です。中身も似ているのでしょうか。
事務局	この事業はぜひ保健所さんと一緒にやりたいと思っておりますので、保健所に登録されている施設、それ以外の施設を私たちが調査をいたしまして、ぜひ登録してくださいという風に進めたいと思っております。苫小牧オリジナルのステッカーを作りたいと思っておりますが、連携を図りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
委員	了解いたしました。健康増進法の中で受動喫煙の防止対策というものが法律で規定されていまして、最近法律が改正されました。基本的には複数の人が集まるような場所ではタバコは吸ってはいけないということになります。個人的には全面禁煙にしてほしかったのですが、全面禁煙にはならず例外的な施設もあります。タバコが吸える施設もあれば吸えない施設もありますが、複数人集まる施設は非常にたくさんあるため、連携をし、情報共有しながら進めていければと思います。22デー、毎月22日ということですが、WHO世界保健機構が定めたこととして、世界的に5月30日が禁煙デーとなっています。5月31日から6月6日までの一週間は禁煙週間ということで毎年取組んでいることですので、それとも何か連携できるような取組ができればいいのかなと思いました。
委員	前回の実施計画の中に、むし歯予防週間ですとか歯周病検診ですとか健康支援課の取組にあげられていましたが、私の通っている歯医者で歯周病検診ができませんでした。苫小牧歯科医師会に入っていないと検診ができないということで、よく考えて行っていただき、偏った方向に進んでいかないようにしていただきたい。禁煙ステッカーに関して、市のシンボルを使用することは良いかと思いますが、15～16年前に香港に行ってタバコを買った際、このタバコを吸ったら死にますといった広告があった。タバコの値段も当時日本円にしたら高く、広告内容も印象的で未だに覚えている。そういったことも参考にしながら取組んでいかれると良いと思う。

(4) 各団体の取組の報告

今までの協議会の中で報告していない各団体の取組、また任期終了となるため2年間の協議会の感想を一人ずつ発表。

委員	<p>小学校長会の代表として関わらせていただきましたが、たくさんの色々な職種の方々のお話を聞いて、学校教育に活かせることや学ぶことがたくさんありました。学校教育の中で食育は重要なポジションになっていて、それを推進していますが、今までの栄養教諭の指導以外に人材バンクのようなものを活用して外部の方を招くと、子どもたちも目をきらきらとさせて喜びますので、そういったことを学ばせていただいて非常によかったと思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>農業委員の立場では、私自身会長になり丸8年になります。苫小牧はもともと苫東に1万ヘクタールあった敷地がすべてうまるほどの農家があったが、昭和45年になくなり、現在は2～3割ほどしか使われてなく、鹿の宝庫になっている。それだけ農家が減った中でどうするかということを考えています。養育栽培研究会ができ、水耕栽培といった植物工場が進出してきました。年中安定した食べ物が食べられるといったことが非常に良いことです。見学者が増えているほか、沼ノ端でそれを食べる店があったりと推進しているところです。これからも食に関わる産業を積極的に誘致したいと思います。</p>
委員	<p>保健所の取組としましては、今年は震災が起きてしまい参加することができませんでしたが、10月中旬頃のたべるたいせつフェスティバルに参加させていただいたり、厚真町で子どもたちに食事の実態調査を行い、結果をもとに対策をたて、町の有志の方々を集めて意見交換をしながらこれからのことを考える場を設けておりその場に参加させていただいたりします。もっと広いところでいうと食事バランスガイドの普及啓発等をやっております。</p>
委員	<p>私が取組をしていることというと、豚まんを高校生の時に考案して2月で14年になります。道の駅にお店を持って10月で10年目になるのでこういった取組は食育といった言葉ではなくてもずっとやってきて、2月にはありがトン祭りということで食を楽しむ、味わう、学ぶということで10周年の時から5回目になり、自分でやってきたことの集大成を毎年1回やるようにしています。その中で豚まんを販売することは、商売として営利目的が入るかもしれませんが、もともと豚まんを考案したきっかけは、苫小牧はスケートの町で、観戦しながら栄養バランスが優れた温かい片手で食べられるファーストフードのようなスローフードを作りたいという気持ちで作ったものなので、そういった気持ちも含めてありがトン祭りを通じて、食育についてお話しする時間を設けています。食育をどのように伝えていったらよいのか考えながら子育てをしています。女性が働くようになってきて、冷凍餃子をみると「中火とは」と写真つきで載っている。中火そのものを表示するようになっていくほか、チルドや冷凍で販売されている餃子は水なし油なしがメインとなり、さらには蓋なしになってきている。蓋の油も水もいらぬ、ただフライパンに餃子を並べて放っておけば良い方法が主流になってしまえば、手作りの餃子を作っても、焼くのを失敗する人が増えてしまい料理自体に苦手意識を持ってしまう方が多くなるのではないかと。親切丁寧で分かりやすい反面、手作りの良さや食育を伝え続けること、素材の良さを知るために興味がわくような機会が減ってしまっていることが怖いと思う。保育園や小学校の親</p>

	<p>子レクで調理師として、また養豚農家の娘としてフードアナリストとしてという部分で料理教室に呼んでいただくことが実績としてあるので、食育人材バンクには登録しようとは思いますが。ただ、人に勧めるときに自分がメインとなって仕事をしている人が無償で好きだから知識や技術を広めていきたいと思う反面、仕事が疎かになってしまうので、無償と有償の線引きが難しいと思う。食育推進委員に入り、勉強させていただいて自分がやってきたことに自信を持ちましたし、また改めてこういった機会があれば参加したいと思いました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>取組としては健康フェスタの他、年3回支部で研修を行っております。栄養士中心ではありますが、一般の方も参加できるように新聞等に広告を出しており、数名の方が参加しています。今回この委員に参加させていただき、市役所がどういったことをしているのか一部分ではありますが知る機会となりましたし、大変勉強になりました。ありがとうございました。なかなか地域に栄養士がいるということを知っていただく機会が少ないのが事実だと思いますので表に出られるような何か方策はないか、支部に戻りましたら団体登録の話はしてみますが、個人の考えもありますので検討させていただきたいと思います。最後に、支部長として管理栄養士としてお話をしたいのが、食育を市で推進していただくということなので、ぜひ市役所の方でも管理栄養士を複数、中心となる方を更に設置していただけたらと思います。</p>
委員	<p>この食育推進計画の立派な冊子を作るにあたって、計画の段階から携われてとても楽しかったですし、勉強になりました。園でできる食育には限りがあり、やはり得た知識をいかに家庭に戻して、家庭で取組んでいただけるかということが私たちの課題なのかなと思いました。せっかく得た知識をここで留めるのではなくて、これからも発信しつづけていけるように伝えていきたいと思っています。2年間どうもお世話になりました。</p>
委員	<p>中学校長会としてきていますので、中学校の視点でいうと、計画にあるように食に関する指導の全体計画を作成していますので、それを実行するといったこととなります。各中学校ではそれ以外に栄養教諭を招いての食育指導をすすめています。結果的に給食をしっかり食べさせることが非常に大きな使命でして、その中で丈夫な体をつくるということが中学校での食育の一番大事な部分だと思います。今回すすめられている健幸大作戦も含めて中学校の義務教育の中で保健や家庭科等教科の中でしっかりと子どもたちに身につけさせるのがベースになるのかなと実感しました。いろいろお世話になりました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>法人保育園の代表として参加させていただきましてありがとうございます。保育園という組織は、各園小さい組織ですがその子どもと距離が短い立場にいるのかなと思います。また、小さい頃からこれからの人間づくりとして大変大事な時期を担っていると思っています。今までは当たり前前の部分は当たり前前わかっているだろうと思っていましたが、当たり前前は当たり前じゃないというように思うようになり、当たり前じゃないことからはじめても良いのではないかなと思うようになりました。自宅でごはんを作っている家もありますが、そうではない家もあることは現実としてあることは</p>

	<p>知っていましたが、例えば魚をおろすところから子どもたちに見せ、衣をつけて油で揚げるといふところを近くで見せると、子どもたちの反応がすごく良い。今は色々な働き方があるため、保育園でやれることひとつずつやってみて、子どもたちの反応を見ながら、食に対しておいしいものを食べることから興味をもってもらい、そこからどのように出来ているのか、生産するところ、魚屋、一本の魚をどのように誰がさばっているのか自分の口に入るまでの過程を学ぶことを取り入れていきたい。自分で食べる力やおいしいものをおいしく食べる機会を少しでも増やしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>食品衛生協会からということで、団体としては食の衛生管理を勧めていくこと、安心安全な食を届けることが我々の仕事です。私が会長になった時に何か食育として取り組むことを提案しましたが、難しい状況です。現実には現場が一番大変なのにどれだけ浸透できるのかこれから先も心配なところですが、たくさん勉強させていただきました。2年間ありがとうございました。</p>
委員	<p>私が所属しているのは高齢者が多いため、少し違う視点から勉強会をしています。今は輸入食品、添加物、種子法が変わりまして種の心配やそれについてくる殺虫剤の怖さ等の勉強を皆さんにさせていただいています。年に4～5回の料理教室の中で、高齢者なので皆さん食が細くなって偏食な方が多い。手作りが多いですが、好きなものは食べるが肉はいらぬ、魚は食べない、牛乳はいらぬといった方が多く、バランスよく食べるための工夫について勉強しています。苫小牧市内の魚や野菜等こういったものがとれているのか高齢で長いこと苫小牧にいる方でもわからない方が多い。今年はそういったものに重点的に取り組んでいきたいと思っています。</p>
委員長	<p>乳幼児期だけではなく大学生も大変なことになっておりまして、お菓子だけで昼食を済ます生徒や、経済的な理由で昼食をとらない等、本当に日本中大変なことになっていて、それが大人になった時に体にいろいろ現れてくるのではないかと思います。1回ですがフィールドワークということで、畑と牧場とほっき貝むきやJファーム、ホクト、ほっき祭り、胆振の食まつり等、畑から食べるところまで全部つながるように何回にも分けて学生と一緒に行きました。一番驚いていたことは牛で、牛乳になるまでこんなに牛飼いの方々が苦勞されているのかということに現場に行ってみて感じる事ができたようです。安いものが良いと思っていた自分の考えが大きな誤りだった等それぞれに感じたことがあったようです。私自身もたくさんわからないことを皆さんから教えていただいて、勉強させていただき、こういったものが形となったことで素晴らしい2年間だったと思っています。この体制では最後となりますが、本当に良い仲間といい形で交流を持てたと思っています。知り合い同士でできることはたくさんあるかと思っていますのでバンクとも関係なく連絡を取り合ってやってできたらと思っています。ありがとうございました。</p>

3 閉会

平成31年度からの委員について後日各団体に推薦の依頼をさせていただきます。